

陽たまり^{vol.6}

2022 Summer

特集

「体外衝撃波」で
結石を砕く

TAKE
FREE

ご自由にお持ち帰り
ください

特集

「体外衝撃波」で 結石を砕く

身体の中に膀胱石ができると強い痛みを伴うことがあります。手術や内視鏡治療と異なり、外来でも可能な「体外衝撃波結石破碎術(ESWL)」という治療法があります。体の外側から衝撃波を与えて石を砕く画期的な治療。

消化器内科部長 こうの ともき 河野 知樹

■ 膀胱にも結石はできる

膀胱に結石ができることを「膀胱石症」といい、慢性膀胱炎に合併する病気の一つです。慢性膀胱炎とは、何らかの原因で膀胱に持続的な炎症が起こる病気です。持続的な炎症が起こった膀胱に線維化※1という反応が起こり、膀胱が徐々に硬くなっていきます。硬くなった膀胱の中の尿管（尿液という消化酵素の流れ道）は部分的に硬く狭くなり、尿液の流れが滞ります。滞った尿液中のタンパク質が固まり結石を形成します。結石が尿液の流れを遮り、さらに慢性膀胱炎の状況を悪化させるため治療が必要となります。

※1 線維化…線維組織が増殖し、組織が線維成分に置き換わり硬くなっていくこと。

消化器内科部長 こうの ともき 河野 知樹

平成17年に香川医科大学医学部を卒業
平成25年4月から当院 消化器内科医長として勤務
平成30年4月から消化器内科部長
専門は消化器内科(特に胆嚢、膀胱)、内視鏡内科
消化器病専門医、消化器内視鏡専門医など



■ 慢性膵炎と膵石症の症状

二つの症状は似ており、膵臓自体の炎症、さらには滞った膵液による自己消化（強力な消化酵素である膵液が膵臓自身を消化・破壊すること）により、みぞおちや背中に痛みが生じます。膵臓の周りは神経が多いため、激痛を感じ救急搬送されるケースもあります。また、膵液には強い消化機能があるため、この機能が働かないと消化・吸収不良を起こし、下痢・体重減少などが見られます。さらに、膵臓には血糖値を調節する働きもあるため、これが障害されると糖尿病を発症します。

■ 男性に多い病気

慢性膵炎の原因は70%がアルコール、残りは遺伝や特発性（原因が分からないこと）など、胆石が関連することもあります。従って、飲酒率の高い男性が多く発症し、特に40～50歳代に多い病気です。

■ 衝撃波で石を砕く

膵石症の治療には、外科的治療、内視鏡的治療が主に行われますが、その他に体外から衝撃波を当て石を砕く「体外衝撃波結石破碎術（ESWL）」という治療法があります。尿管結石に対し広く行われている治療で、文字通り体外（お腹や背中）から専用の機械で衝撃波を当て、結石を砕きます。ただし、1回で破碎できることは稀で、多い人で数十回の治療を行う場合もあるため、根気のいる治療法です。完全に破碎できなくても、5mm以下まで小さくなれば内視鏡で除去することもあります。

体外衝撃波結石破碎術（ESWL）は1回の治療の効果は小さく、時間も要しますが、手術や内視鏡治療に比べ、合併症のリスクが比較的低く、外来でも行えるため（ただし、当院では初回導入時は入院で行っています）患者さんの生活への影響が少ないことがメリットです。



■ まずは生活習慣を見直そう

慢性膵炎・膵石症の原因の多くは、アルコールにあります。いかなる治療よりも重要なのは断酒です。飲酒をやめ、原因を断ち切ることで膵臓へのダメージを最小限にすることができます。

また、糖尿病や高コレステロール血症とも関連しているため、ご自身の生活習慣を見直すことから始めましょう。

膵臓の徹底解明

「沈黙の臓器」と言われています。膵臓は胃の裏側にあることで病気の早期発見が難しいことから

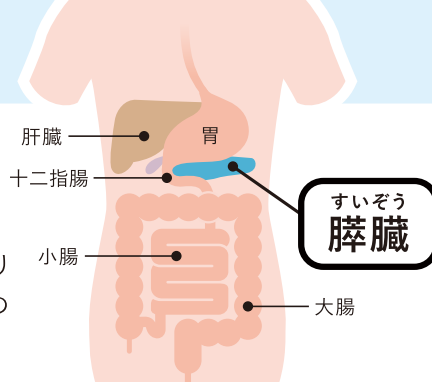
沈黙の臓器『膵臓』を徹底解明

消化器内科部長 河野 知樹



膵臓の役割

膵臓は胃の後ろでみぞおちの辺りやや背中側に位置しています。膵臓の働きは大きく分けて二つあります。



内分泌機能

インスリンやグルカゴンなど
血糖を調節するホルモンを分泌

慢性膵炎や膵がんなどでこの機能が損なわれると糖尿病を発症したり、急な病状悪化を来すことがあります。

外分泌機能

食べ物の消化を助ける膵液を分泌

膵液が含む消化酵素

アミラーゼ	トリプシン	リパーゼ
糖質	タンパク質	脂質

この機能が不十分になると、消化不良や吸収障害を起こし、下痢や体重減少の原因となります。

膵臓からの危険信号を見逃すな！



急性膵炎の初期症状として、みぞおちや背中への痛みが挙げられます。これが急激に広がるとうずくまるような痛みとなり、意識障害や呼吸困難などの重い症状が出現することもあります。慢性膵炎においては、徐々に状態が悪化するため、気付いた頃には病気はかなり進行している場合もあります。一般的な症状として、重く鈍いみぞおちの痛みやお腹の張り、下痢や脂肪便(便器の中に脂が浮くような便)が見られます。

膵がんの症状は慢性膵炎と似ていますが、さらに食欲不振や体重減少、黄疸が出現する場合もあります。しかし、初期は無症状であることが多く、症状に気付いたときには進行がんになっていることが大きな問題です。症状を捉えることも重要ですが、それ以上に無症状時に検診を受けることが病気の早期発見につながります。

膵臓に優しい生活習慣を心掛けましょう！

- 暴飲暴食や脂っぽい食事を控え、バランスの良い食事を摂る
- 適正な体重を維持する
- 過度な飲酒、喫煙を控える

これらの生活を心掛けること、そして定期的な健康診断を受けることがご自身の身体を大切にする第一歩です。初期の膵臓疾患を通常健康診断だけで捉えるのは困難な場合も多く、膵臓に焦点を当てた検査(熟練技師による腹部超音波検査、MRI、超音波内視鏡など)も必要と考えます。

すい臓がんの早期発見のために、
当院では「すい臓がんリスク検査」を行っています。

検査内容	料金
● 腹部MRI検査(MRCP) ● すい臓超音波検査 ● 採血、腫瘍マーカー(CA19-9、DUPAN-II)	¥39,600 (税込)

お問い合わせ・ご予約

電話にて
ご予約ください

☎ 087-868-9526

＼ 飲酒はほどほどに ／

栄養科長 管理栄養士／六車 実穂

アルコールとは

日本では、アルコールを1%以上含む飲料のことを「お酒」といいます。アルコールには、エタノール、メタノール、プロパノールなどがありますが、一般的にお酒として飲まれるのはエタノールです。

アルコールの吸収と分解

アルコールは胃で約20%、残りの大部分は小腸で吸収され、血液に溶け込み、はじめに肝臓に送られます。肝臓でアルコールは、「アセトアルデヒド※1」という有害物質に分解され、さらにアルデヒド脱水素酵素(ALDH)の働きによって無害な酢酸へと分解されます。肝臓でできた酢酸は、血液を通して全身を巡るうちに水と炭酸ガスに分解され、最終的には体の外に排出されます。

※1 アセトアルデヒド・・・お酒を飲んだときに顔が赤くなったり、動悸や吐き気、頭痛などの原因となる物質



！ 飲酒が原因の病気は多い

- 肝臓病(慢性肝炎・脂肪肝・肝硬変など)
- 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞など)
- 胆石症
- 慢性膵炎
- 糖尿病
- 脂質異常症
- 高尿酸血症
- 高血圧
- 動脈硬化症
- 脳血管障害
- 骨粗鬆症
- 胃・十二指腸潰瘍
- 癌 など



様々な病気の原因になります。病気の種類によってどのくらい健康に影響するかは異なりますが、アルコールの飲み過ぎには注意しましょう。

賢く飲むコツ

POINT

- ✓ 週2日は休肝日を設ける
- ✓ 食事と一緒に摂る
- ✓ おつまみを食べ過ぎないようにする
揚げ物などのカロリーが高いものや味が濃いものは避け、野菜や海藻などが多くとれるサラダや酢の物、大豆製品がおすすめです。
- ✓ 低カロリーやノンアルコールを選ぶ

酔いのメカニズム

飲む量が多かったり、飲むペースが早かったりするとアルコールの分解が追いつかず、大部分のアルコールは心臓に送られ、脳や全身にも運ばれます。アルコールが血液によって脳に到達すると脳を麻痺させ、酔った状態を作ります。また、お酒に対する強さはアルコールを分解する酵素によって決まっています。2型アルデヒド脱水素酵素(ALDH2)が主にアセトアルデヒドの分解に働きますが、分解能力は遺伝子によって決まっているため、分解能力が低い人はお酒がほとんど飲めません。

全身を診る “脳神経内科”

令和4年5月から
脳神経内科外来を
開設しました。

先生のご紹介

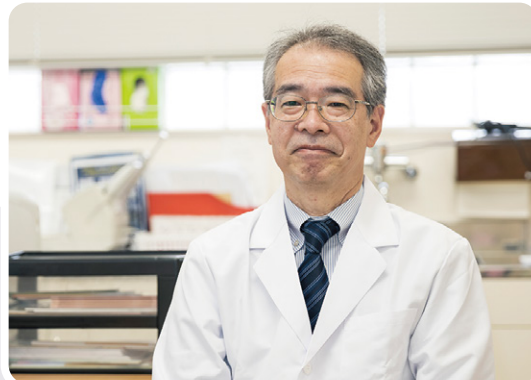
診療分野は脳神経内科全般ですが、特にパーキンソン病を中心とする運動異常症や重症筋無力症といった神経免疫疾患の診療や研究を行ってまいりました。

とうげ てつお

峠 哲男先生

PROFILE

昭和56年 徳島大学医学部医学科卒業
昭和58年 社会保険栗林病院で内科医として勤務
昭和61年 香川医科大学医学部附属病院第三内科
(現在の消化器・神経内科) 所属
平成3年、12年 英国ロンドン大学神経研究所に留学
平成16年 香川大学医学部看護学科健康科学助教授
平成18年 香川大学医学部看護学科健康科学教授
平成28年 香川大学医学部医学科健康科学系健康科学教授
令和3年 香川大学定年退職
現在 香川大学名誉教授

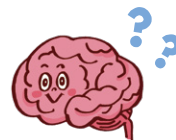


主な資格

日本神経学会認定神経専門医・指導医
日本内科学会認定内科医
日本老年医学会認定老年科専門医・指導医
日本臨床神経生理学会認定専門医(脳波・筋電図)
日本医師会認定産業医

脳神経内科ってどんな病気を扱う診療科なの？

脳神経内科は脳や脊椎、末梢神経、筋肉の病気を診る内科です。

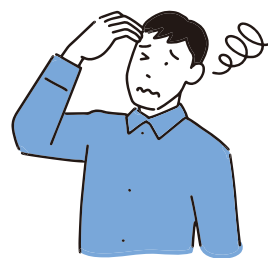


- 血管の異常で起こる“脳卒中”
- 原因不明で脳や脊髄の神経細胞が徐々に死んでゆく“神経変性疾患”
(アルツハイマー病、パーキンソン病と類縁疾患、筋萎縮性側硬化症、脊椎小脳変性症など)
- 脳炎や脊髄炎といった“神経感染症”
- 免疫の異常で生じる“神経免疫疾患”
(多発性硬化症、視神経脊髄炎、ギランバレー症候群、重症筋無力症など)
- ビタミンやミネラルの欠乏または過剰、細胞酵素の遺伝的異常が原因で生じる“代謝疾患”
- その他にてんかん、頭痛症、筋肉の病気(多発性筋炎、筋ジストロフィーなど)

こんな症状があれば脳神経内科の受診をおすすめします。

体を動かす、感じる、考える、覚えることが上手にできなくなったときに脳や脊髄、筋肉の病気を疑います。症状としては、痺れやめまい、上手く力が入らない、ふらつく、しゃべりにくい、物が2重に見える、頭痛、勝手に手足や体が動いてしまう、物忘れ、意識障害などたくさんあります。このような症状があるときは、まず全身を診ることができる脳神経内科でこの病気であるかを見極めることが大切です。

そのうえで、骨や関節の病気がしびれや麻痺の原因であれば整形外科に、手術などが必要なときは脳神経外科に、精神的な原因であれば精神科にご紹介します。また、感じることの中には見たり聞いたりする能力も含まれますが、眼科や耳鼻科の病気もあります。



(神経内科の主な病気: 脳神経内科とは? 日本神経学会ホームページから一部改変して転載)

脳神経内科外来

曜日 第2・第4 火曜日 時間 13:30~16:00



香川県済生会病院

消化器内視鏡専用

緊急ホットライン

香川県済生会病院消化器内科では
地域の諸先生方や患者様との迅速・緊密な連携を目指し、
平日専用ホットラインを開設しております。

消化器内科専用連絡先 ☎ **087-868-9539**

※この番号は医療機関からの専用番号であり、患者様個人からの電話は受け付けておりません。

対応時間 月～金曜日 **8:30～17:30** (土・日・祝日を除く)

DEPARTMENTS

消化器内科

●吐血、下血 ●黄疸 ●イレウス

上記のような患者様がおられましたら、専門医師が直接対応致します。原則、お断りいたしません。



Information 病院からのお知らせ

来院時のお願い

新型コロナウイルスの感染対策として、10日以内に37.5℃以上の発熱、咳、息苦しさ、喉の痛み、強い倦怠感、嗅覚・味覚異常などの症状がある方は、事前に病院にお問い合わせください。引き続きご協力をお願いいたします。

面会制限のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入院患者さんの面会は、病院側の許可がある方のみとしています。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

病院側が面会を許可する内容

- 手術や検査説明
- 患者さんの病態に変化が生じた場合
- 手術や検査時の家族付添い
- その他、病院が必要と判断した場合
- 主治医からの病状説明

なお、来院時とお荷物の受け渡しは、1階窓口でお声掛けください。面会の際は、以下の点をお願いしています。

- マスク着用
- 病棟にて面会簿の記載
- 面会者は18歳以上の方2名まで
- 病棟での体温チェック
- 病室入退室時の手指消毒
- マスクを外しての会話と飲食禁止

Doctor's holiday ドクターズ ホリデー



消化器内科
部長
河野 知樹

朝、二人の子ども(女の子)が起きてちょっかいを出してくる幸せな目覚め方をして、毎日欠かさずコーヒーを飲んでいます。子どもたちに勉強を教えたり、習い事に連れて行ったりして、間で大谷翔平の試合がないかチェックしています(野球好きです)。昼から鶏のたたきをつまみながらワインを飲むこともあり、完全オフの休日は充実した時間を過ごしています。



編集後記

結石を体外から衝撃波で砕く治療法ってすごいですね。院内を歩いているとたまに「パンッパンッ」と音が聞こえて何だろうと思っていたのが、まさに「体外衝撃波結石破砕術」で衝撃波を当てている音でした。体外からの刺激で体内の石が砕けるってどんな仕組みなのか気になるところです。

編集担当者

理念

患者さまのために、地域のために、
そして職員のために存在する病院



社会福祉法人 香川県済生会支部
香川県済生会病院



〒761-8076 香川県高松市多肥上町1331-1
TEL.087-868-1551 FAX.087-868-9733 <https://www.saiseikai-kagawa.jp>

基本方針

- 1 思いやりを持って患者さまに尽くし、患者さまから信頼される病院となります
- 2 地域に根差し、地域の一員として認知、信頼される病院となります
- 3 高齢者医療、地域医療、がん医療、急性期医療、そして予防医療をリードする病院となります
- 4 常に変革を行い、またその能力を持つ病院となります
- 5 研究心、向上心を持ち、活力にあふれる病院となります
- 6 職員の働く環境の良い病院となります